



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2012年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コヒーアワ : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)
 益田デーロ (英語部)
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)
 (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫 口

◎石叫■

「妻の一周忌」

妻の節子が召されて一年になる。早いものだ。この一年、悲しみという心の痛みをどのように耐えていったらいいのか、当初はまことに不安そのものであった。夜、夕食の準備をし終わって息子が帰って来るのを待つ間、一人テーブルに頬杖をついてはボケツツとし、いたずらに時間が過ぎてしまうことが多かった。悲しみを乗り越えるには、時間という痛み止めが無くてはならないことは分かっていたが、それはまた涙と仲良くする時でもあった。方々にある妻の写真を見てはその時々を思い出しては泣き、語りかけては泣き、妻の着ていたものを手に取っては泣き、時には娘と一緒に泣いた。こんなにも涙が出るものかと思うほどに。そのようにして歩んできた一年が過ぎようとしている。

昨年夏、心の痛みを癒すためには、大好きなヨセミテに行ったら良いのではないかと思ひ、教会員たちと一緒に出かけられたのだ。だが癒されるどころか、却ってこれまでのことが走馬灯のように思い出されてしまい、ドライブしながら、歩きながら、山々を見ながら絶えず涙が流れて仕方がなかったのである。

先週、僕は六十三歳の誕生日を迎えた。時間の流れで妻の召された六十二歳と9ヶ月を超えた。それまでは僕より9ヶ月年上の妻との差はもとより動くはずもなかった。だが、妻が召されからはその日数がしだいに縮じまり、そしてついに僕は追い越してしまった。そして、この差は僕が地上に生きている限り、ますます広がってゆく。妻との記憶にしても、少しづつ薄れてゆき、思い出の時間的距離も少しづつ遠ざかってゆく。それはまた何とも切ないものである。

妻の一周忌を前にして思いを新たにすること、それは彼女が生涯を通して救い主イエスを賛美し続けたように、僕も妻が絶えず主を賛美してきた足跡を一步一步踏みしめながら歩いてゆこう思う。その足跡の辿り着く先で待っているのは妻との再会である。その希望をもって今の時を耐え忍んで生きてゆこう。

そしてもう一つ。「兄弟たちよ。……ただこの一事を努めている。後のものを忘れ、前のものに向かってからだを伸ばしつつ、目標を目ざして走り、キリスト・イエスにおいて上に召して下さる神の賞与を得ようとして努めている」(ピリピ三・13・14)というパウロの言葉のように、主イエスにお会いし、その主から「よく、やったね」と言ってもらう希望の確信である。その事のために、それを一事とし、それこそが一事であることを心に留めて、この信仰の馳せ場を、愛する者たちと共に主イエスから目をそらさずに歩んでゆこうと思う。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は一九七七年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は一九二一年に創立され、現在は日英両語合わせますと二千名を越える会員になります。

私たちの教会は一八世紀に、英国で始まったジョン・ウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、三世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白といたします。

